

大阪市450校 1カ月で「135トン」

紙ごみ再生

NPOと業者

ボランティア

焼却処分されている学
校から出る大量の紙ごみ
を再生して有効利用しよ
うと、NPO法人「グリ
ーンコンシューマー大阪
ネットワーク」(大阪市
中央区)が、古紙回収業
者とタイアップして市内
の学校から集める活動を
始めた。NPOも業者も
ボランティアで、全国で
も珍しい取り組み。子ど
もたちの環境教育にもつ
ながると広がりを見待
っている。

焼却処分されている学
校から出る大量の紙ごみ
がでていた。市内には小
学校から高校まで約45
0校あり、3月だけで約
135トンが出た計算にな
る。

平均約300kgの紙ごみ
が出ている。市内には小
学校から高校まで約45
0校あり、3月だけで約
135トンが出た計算にな
る。

しかし、市は現在、学
校への呼びかけは今年
1月から始め、既に約70
校が回収に参加する意向
を示している。

70校が参加へ

資源循環型社会を目指
す同NPOが昨年3月、
市内の小中学校4校を調
べたところ、1校当たり
約300kgの紙ごみが出
ている。市内には小
学校から高校まで約45
0校あり、3月だけで約
135トンが出た計算にな
る。

ボランティアの仕組みをつ
くることができた。
同NPOは、紙ごみが
大量に出る年度末と5
月、年末の3回に集中し
て回収することを計画。
廃棄物処理業者でつくる
関西製紙原料事業協同組
合(同市中央区)に協力
を依頼し、無償での回収
を引き受けてもらった。
同NPOの山口百合子

同様の回収は、兵庫県
尼崎市教委が業者に発注
して04年度から進めてい
るが、民間団体や業者が
すべてボランティアで取
り組むのは珍しい。資源
回収とごみ減量のモデル
ケースになりそうだ。

回収した紙ごみは、ト
レットペーパーやコピ
ー用紙などに再生。それ
を学校に還元して、環境

代表は「子どもたちがい
る学校のごみが無尽蔵に
焼却されている現状を変
え、ごみ減量につなげた
い」としている。同ネッ
トワーク(090・27
05・4914)。

【阿部浩之】